

広報  
Kouhou Wakasa

# わかさ

2025 年  
7月号  
No.244

[特集]

この町の梅には、

物語がある。





この町の梅には、  
物語がある。



赤尾農園

Sudo Ryunosuke

須藤 竜乃介さん

出身：千葉県栄町（若狭町鳥浜在住）

年齢：36歳

職人の心で挑む、  
若き梅農家の挑戦。

この町の梅には、物語がある。そして今、その物語を新たに紡ぎ始めた一人の若き梅農家がいる。未経験から飛び込んだ梅づくりの世界。須藤さんは梅・人・地域と向き合いながら、自分なりの物語をこの地に刻みはじめている。実りの季節を迎えた今、須藤さんの仕事に込めた覚悟と、職人としてのまなごしを追った。

## 梅農家という、職人を目指して

「農業の経験は全く無かったんです」そう穏やかに語ってくれたのは、西田地区で代々梅づくりを続ける「赤尾農園」の須藤竜乃介さん。

会社員として働いていた須藤さんの人生が大きく動き出したのは、ある年、手伝いとして梅の収穫に携わった時のことだった。作業を終えた須藤さんに、義父であり農園の3代目・赤尾信義さんが、給料明細と併せて手渡したのは、短いメッセージだった。

「来年はより良い作品を作れるように頑張ります」その言葉に、ぐっと胸が熱くなった。農業という営みが、「作品」を生み出すことと重なった瞬間だった。「農家もまた、ものづくりの職人なんだ」と、須藤さんの心の奥に眠っていた“職人への憧れ”を呼び覚ました。「梅農家になりたい」ひとりの男の人生が思わぬ方向に舵を切った。農業の経験は無かったが、そんなことは、この想いの前ではごく小さな問題に過ぎなかった。



## 歩みだした、職人としての第一歩

須藤さんが初めて「自分の梅」を収穫したのは大凶作となった昨年の6月。それでも、自らの手で育て、初めて梅を収穫した感動は、手伝いの際に感じたそれとはまるで違った。4月から畑に入り、わずか2か月足らずの関わり。それでも、「嬉しい」という想いは、自分でも驚くほど強かった。「凶作の年だったので、不安はありました。でも、その分、一つひとつの作業を冷静に見ることができました。改善点を洗い出し、次につなげようと思えたんです」

そして迎えた2年目の今年。初めて1年を通して梅づくりに向き合った。“良い梅になってほしい”と願いながら一粒一粒に手をかけ、その想いが形になる。収穫時の嬉しさは昨年以上だった。

6月の実りをイメージしながら、日々の細かな作業を一つずつ丁寧にこなしていく須藤さんの姿は、まさに職人そのものだ。



## 須藤さんが描く次のかたち

須藤さんは若手梅農家のグループに所属しており、情報交換や励まし合いを通じて、支え合いながら梅づくりに取り組んでいる。「これからは、ただ梅を作るだけでは生き残っていけない」そんな危機感を共有する中で、須藤さんら若手農家は“人とのつながり”を意識した新たな試みを始めた。それが、梅の収穫体験を取り入れた「梅ワークショップ」だ。都会から訪問者を受け入れ、収穫作業を手伝ってもらいながら、梅収穫の現場を体験してもらうこの取り組みは、始まって1か月足らずで延べ約40人が参加し、予想以上の反響を呼んでいる。

その他にも、新たな試みをいくつも考案中だ。例えば、春先の梅の花の季節にあわせて、夜に梅園をライトアップし、マルシェを開く構想。「収穫時だけでなく、花の時期にも人が訪れて、梅を五感で楽しんで欲しい。そうなれば、梅をもっと

身近に感じてもらえる」と語る。須藤さんの頭の中には、季節の移ろいとともに、人々の生活の中にそっと梅が寄り添う。そんな風景が、鮮明に描かれている。

「“梅と人をつなげる・梅を通して人とつながる”それが自分の目標なんです」農家の役割は、ただ梅を収穫することではない。梅という作品を通して、人と梅、人と人をつなげていくこと。それが、須藤さんがこの仕事に見出している“使命”だ。



## この地に宿る物語を、 次の世代へ紡いでいく

「梅ってかわいいな”って、すごく思います。実の大きさも色も少しずつ違っていて、でも、全て愛情を込めて育てているんです」そんな思いで、収穫のたびに撮るといふ梅の写真。その被写体は、どれも一粒一粒がまるで作品のようだ。

最近では、「いい梅ですね」「美味しかったです」といった声が、SNSやメールなどを通して届くようになった。知らない誰かの食卓で、自分の育てた梅を喜んでいる人がいる。その実感が、また来年の意欲になる。

義父の言葉に導かれ、職人としての道を歩み始めた若き梅農家。その手で育てた一粒一粒の梅が、人々の暮らしに小さな喜びを添えていく。そしてその先には、この地に受け継がれていく物語の続きが、静かに息づいている。



▲義父（赤尾信義さん：左）が守ってきた梅、物語は続いていく

# その 翠、 みどり

若狭町を代表する特産品の「梅」。その栽培は江戸時代に始まり、明治時代に入って本格的に生産が行われるようになりました。当初は小規模農家が地元販売や自家消費のために育てていましたが、徐々にその品質の良さが評価され、県内外へ広まっていきました。

町の梅農家の方々は、伝統の味や品質を守りつつも、新しい技術を取り入れながら、若狭町の梅のブランド価値を高めてきました。収穫が終わり、季節の余韻が残る今、改めて地元の特産品である「梅」についてご紹介します。



## 若狭町の梅

若狭町は県内の梅生産の約8割を占める日本海側最大の産地で、その梅は高い品質を誇ります。若狭町周辺は梅の栽培に適した気候と土壌に恵まれており、湖畔の穏やかな気象条件と豊かな山の水が、梅の実を大粒で味わい深く育てる理想的な環境を作り出しています。

なかでも代表品種の「紅映（べにさし）」は、大粒で果皮が薄く、鮮やかな紅色が特徴。果肉がやわらかく、種が小さいため、梅干しや梅酒、梅加工品としても非常に高く評価されています。

若狭町の梅の品質は、長年にわたって農家の方々の手によって磨かれてきました。その味と品質は、県内外で贈答用や高級志向の食品として高い人気を誇り、多くの方に愛されています。手間ひまを惜しまず、一粒一粒に心を込めて作られる梅は、まさに“町の誇り”。若狭の伝統と自然の恵みが詰まった逸品です。

# 凜と馨る。



## 梅の品種

若狭町で栽培されている主な品種は4つあります。それぞれ特徴が異なっているので、梅干しなどの梅製品をお買い求めの際には、気にしてみてください。

### 紅映（べにさし）

町内の梅の主力品種。その名の通り、実が熟してくると日当たりの良い部分が紅色を帯びます。皮が薄くて種が小さく、梅酒や梅干しに適しています。特に梅干しは肉厚でぽったりとした食感が特徴です。



### 剣先（けんさき）

実の先端部分がやや尖っていることから、その名前が付けられました。早い時期から大玉になるため、町内の梅の先頭を切って出荷の時期を迎えます。梅酒や梅シロップ等に適しています。



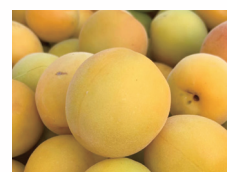
### 福太夫（ふくだゆう）

平成17年に県の園芸試験場で品種登録されました。果実がやや小ぶりで、爽やかな香りとマイルドな酸味が特徴です。収量が極めて多く、梅酒や梅干し等に適しています。



### 新平太夫（しんへいだゆう）

昭和61年に県の園芸試験場で品種登録されました。江戸時代から伝わる「平太夫」梅の名前にちなみ「新平太夫」と名付けられました。病害に強く、熟した時の桃のようなフルーティーな香りが特徴です。



## 梅生産の状況と町の取り組み

### 梅生産の状況

昨年、町内の梅は記録的な大凶作に見舞われました。夏の猛暑や暖冬などの天候不順が影響し、生産量は例年の3割程度にとどまり、多くの生産者にとって厳しい一年となりました。

しかし、今年は季節の巡りも穏やかで、樹木の状態もおおむね良好でした。生産量は平年並みとなり、例年通りの実りを迎えました。農家の皆さんによる丁寧な手入れと好天に恵まれたことで、美味しい梅がたくさん実りました。

### 特産の梅を、誇りに

町内の小学校では、地域の特産品である梅に親しみを持ってもらおうと、子どもたちを対象にした体験型の授業を行っています。

梅の収穫体験では、子どもたちは実際に畑で梅の実を収穫しながら、自然や農業の大切さを学んでいます。また、梅の香りを取り入れた授業など、五感を使った学習を通して、梅と町のつながりを感じる機会もつくられています。こうした体験を通じて、子どもたちの中に郷土への愛着や誇りが、少しずつ育まれています。



▲目を閉じて、梅の香りに集中する児童  
写真提供：SCENTMATIC 株式会社





Darea パレア若狭 音楽ホール



**若狭 プラスフェスタ 2025**  
 開催日／ **8月23日(土)**  
 時 間／開演 13:30 開場 13:00  
 チケット料金／一般 500 円・高校生以下 100 円 (全席指定)  
 ※3 歳以下入場不可

**特別出演 京都大学交響楽団**

1916 年の創設以来、100 年以上の歴史を持ち、京都大学をはじめとして、京都市内外の大学生ら約 150 名による学生オーケストラ団体。  
 常に音楽に対して真剣に取り組み、より良い音楽を届けることを旨として、緻密でありながら、学生ならではの情熱のこもった音楽を目指している。

**パレア若狭開館 20 周年記念事業**

チケット  
発売中

■若狭町と長年交流のある京都の大谷中学・高等学校吹奏楽部と地元の美方高等学校吹奏楽部との交流コンサートです。今年は両校の生徒に加え、「京都大学交響楽団」が特別出演します！

今年のテーマは、「プラスサウンドで彩る最高の夏」です。フレッシュでパワフルなサウンドが、皆さんの夏を華やかに彩ります。

**大谷中学・高等学校吹奏楽部**

若狭町のみなさん、こんにちは。大谷中学・高等学校吹奏楽部は、今年も「若狭プラスフェスタ」に参加させていただきます。地元の美方高等学校吹奏楽部のみなさんとの交流や、合同演奏を楽しみにしています。また、私たち大谷中学・高等学校吹奏楽部の夏合宿は旧上中町時代から 50 年以上続いており、毎年、地元の方々に温かく迎えていただき、感謝しています。

今年も若狭町の皆さんに、音楽と共に感謝の気持ちを届けられるよう、精一杯頑張ります。是非、聴きにきてください！！

**美方高等学校吹奏楽部**

プラスフェスタ、今年も出演いたします。恒例になりました大谷中学・高等学校の皆さんとの交流、とても楽しみです！今年は特別に京都大学交響楽団の皆さんがご一緒してくださるので、間近で聴ける弦楽器の響き、とても楽しみです！

地元若狭町の代表として、聴きにきてくださったお客様の心に残る「ポップで、爽やかで、キュート」な演奏会になるよう、部員一同、一生懸命頑張ります！

案内

パレア文化課 Tel: 0770-62-2508

## NHK 公開収録「ニャンちゅう！宇宙！放送チュー！」

パレア若狭開館 20 周年記念事業

■NHK 福井放送局と若狭町では、パレア若狭開館 20 周年を記念して E テレ「ニャンちゅう！宇宙！放送チュー！」の公開収録を行います。ニャンちゅうたちといっしょに宇宙の魅力に迫ります。歌にダンスにねんど作品づくりなど、楽しいステージをお届けします。

開催日／ **9月20日(土)**  
 時 間／1 回目：開演／11:00 開場／10:30 終演予定／11:50  
 2 回目：開演／14:00 開場／13:30 終演予定／14:50  
 観覧申込／(開始) 2025 年 7 月 14 日 (月) 15:00 ~  
 (締切) 2025 年 8 月 22 日 (金) 23:59 まで

結果通知／応募多数の場合は抽選のうえ、当選された方には入場整理券 (1 枚で 4 人入場可) を 2025 年 9 月 4 日 (木) 頃に郵送します。落選された方には 2025 年 9 月 5 日 (金) 15:00 以降に、落選通知メールをお送りします。



▲申込・詳細はこちら

案内

パレア文化課 Tel: 0770-62-2508

### 第 21 回三方中学校吹奏楽部 定期演奏会

■いつもお世話になっているたくさんの方々へ、感謝の気持ちを込めて演奏します。

開催日／ **8月3日(日)**  
 時 間／開演 14:00 開場 13:30  
 料 金／無料

案内 三方中学校 Tel: 0770-45-0059

### 第 20 回上中中学校吹奏楽部 定期演奏会

■お世話になった方への感謝を込めて、工夫を凝らした楽しいステージをお届けします。ぜひご来場ください。

開催日／ **8月10日(日)**  
 時 間／開演 14:00 開場 13:30  
 料 金／無料

案内 上中中学校 Tel: 0770-62-0015



## 暮らしの創作室 ワッカ

### 脳がよろこぶ！心が笑う！臨床アートプログラム

■臨床美術は絵やオブジェなどの作品を楽しみながら作ることによって脳を活性化させ、高齢者の介護予防や認知症の予防・症状改善、働く人のストレス緩和、子どもの感性教育などに効果が期待できる芸術療法（アートセラピー）の一つです。親子やおじいちゃんおばあちゃんとの参加也大歓迎です。お気軽にご参加ください。

#### ①透かし和紙で作るほおずき

日時／8月1日（金）13：00～15：00  
場所／研修室B  
持ち物／手拭きタオル  
参加費／受講料 500 円＋材料費 1,000 円  
定員／6～8 人



#### ②縄文レリーフ

日時／8月24日（日）13：00～15：00  
場所／研修室B  
持ち物／手拭きタオル  
参加費／受講料 500 円＋材料費 1,500 円  
定員／6～8 人



#### 案内

パレア文化課 Tel：0770-62-2508

## Area パレア若狭 ギャラリー

## きらとも会書作展

■書道教室「きらとも会」に通う小学生から大人までの書道作品展です。ぜひご覧ください。

展示期間／8月9日（土）～8月23日（土）※火曜休館  
時間／9:00～20:00 ※最終日は 17:00 まで



#### 案内

きらとも会 Tel：0770-62-1651

## 福祉と文化の祭典 ハート&アートフェスタ2025

■ハート&アートフェスタを、一緒に盛り上げてみませんか？  
出店者等を募集します！

開催日／10月25日（土）  
・26日（日）

会場／パレア若狭

### ●フリーマーケット出店者募集

会場／パレア若狭正面玄関付近、  
デイサービス前駐車場

出店料／1,000 円/1 区画（1 団体につき 2 区画まで申込可）

出店資格／出店規約を遵守していただける若狭町に住所のある個人、団体、グループ。ただし、18 歳未満の方のみでの出店や、フリーマーケットを生業とする方の出店は不可。

申込締切／8月22日（金）必着

※区画の割り振りは事務局で決定します。  
※出店料の半額は、福祉関係団体に寄付します。  
※出店規約等の詳細はお問い合わせください。

### ●サポーター募集

活動内容／子ども・お年寄り・障がいのある方などのサポート、交流企画の運営、会場の案内、受付補助など

対象／中学生以上

### ●キッチンカー出店者募集

会場／パレア若狭駐車場

出店料／2,000 円/1 日

出店資格／福井県の「自動車による調理販売」の営業許可をお持ちの方

申込締切／9月30日（火）必着

※出店料の半額は、福祉関係団体に寄付します。  
※出店規約等の詳細はお問い合わせください。  
※2 日間とも出店できる方を優先して受け付けます。

#### 案内

ハート&アートフェスタ事務局（パレア若狭内） Tel：0770-62-2508

## Piano & Vocal Concert 2025

■子どもたちが選曲し練習を重ねた歌・ピアノをソロや連弾で披露します！  
2 年に 1 度の発表会... 子どもたちの成長をお楽しみください。

開催日／8月16日（土）

場所／パレア若狭 音楽ホール

時間／開演 12：30 開場 12：00

観覧料／無料



#### 案内

吉田薫 090-5856-5814

## 若狭町立図書館 パレア館

Tel.770-62-2505 Fax.0770-62-2578

## にじいろのおはなし会

■図書館リブラ館こどもひろばにて、毎月第4土曜日午前 11 時に紙芝居をしています。参加無料で、赤ちゃんから参加できます。



開催日／8月23日（土）

時間／11：00～

場所／図書館リブラ館 こどもひろば

内容／ボランティア「にじいろ」による紙芝居  
料金／無料

## 図書館からのオススメ本

### 『イチからつくるピザ』

小田原 学／編集 坂之上 正久／イラスト

編集者は坂井市三国にお店があるピザ屋さん。ピザってどこから伝わった食べもの？イタリア？アメリカ？

そのルーツを探るとイタリアのナポリにたどりつく。小麦、オリーブ、バジル、トマトを育てて、モッツアレラチーズをつくり、薪窯でピザの原点、マルゲリータを焼いてみよう。様々なものを素材から作る、イチからつくるシリーズのピザ版です。

